

友好の輪が大きく広がった!

韓国・忠清南道との姉妹提携十周年

熊本県と韓国・忠清南道との姉妹提携十周年を記念し、忠清南道庁所在地の大田直轄市で記念行事が催されました。知事を団長とする友好訪問団約四百人が出席。十年の歩みを確認し、これからの友好交流を進めることを誓い合う意義ある祭典となりました。

◆総勢四百名の大訪韓団を結成

この十年の間、両県道間では行政や経済の交流に止まらず、青少年交流や農業技術交流など幅広い分野で交流を深めてきました。韓国との交流を進めている民間交流団体、総勢約四百名が

知事を団長に大訪問団を組織し「熊本DAY」に出席し、十周年を共に祝うことになりました。

◆大盛況だった「熊本DAY」

八月二十四日、韓国大田直轄市で開催されている「大田エキスポ」の会場では「熊本DAY」が行われました。両県道の知事の挨拶の後、この十年間で友好親善に功労のあった方々の表彰式や両県道の代表的郷土芸能の競演が催されました。熊本側からは幻想的な山鹿灯籠の踊りと力強い人吉ねぶた太鼓のサウンドが、忠清南道側からは伝統芸能の国楽管弦楽団の演奏が披露されました。その夜のレセプションでは両県道間の友好論議が夜遅くまで続けられました。訪韓中、各民間交流団体もそれぞれに大変な歓迎を受け、ホームステイやスポーツなどを通じて両県道の友好親善が行われました。

◆姉妹校、祥明女子大天交校へ訪問

知事一行は忠清南道内の視察や県立女子大学と姉妹関係にある祥明女子大天交校を訪問し、忠清南道での公式行事を終え帰国しました。この十周年を節目に今まで培われた交流の輪がなお一層大きく広がり、その輪が単に両県道間の友好のみにとどまらず、両国間の真の友好につながっていくものと期待されます。



両県道友好親善功労者の表彰



熊本空港を出発する訪韓団



国楽管弦楽団の演奏



大田EXPOのシンボルタワー(ハンピツ塔)



姉妹提携記念林「熊本の森」の手入れをする緑の少年団

海よふるむらじよ 甦れ

「環境ふれあいインみなまた」いよいよ開催

水俣病の公式発見から三十七年。患者救済問題やまごころの問題など様々な問題を抱え、市民全体が苦しんできた水俣。ようやく「水俣病問題を語る市民講座」など、みんなで問題を解決していこうとする取り組みが進んでいます。その一つ、「環境ふれあいインみなまた」が十一月五日〜七日、水俣湾埋立地を中心に開催されます。

第一日の五日午前「海に向かって」から開幕。水俣病発生の原点地・水俣湾埋立地に集い、犠牲となった生命に祈りを捧げ、再生を誓います。午後は、流域生態系の保全などに貢献のあった団体・個人を表彰する「環境水俣賞授賞式」を実施します。

六日の「環境再生フォーラム」では、水俣から身近な環境を守る行動を広げるとともに、水俣病問題の克服と地域の再生を考えていきます。

七日は、水俣病を経験した水俣だからこそ、心のふれあいを広げていく「水俣まごころフェスティバル」を実施します。また、原作者である作家水上勉氏を迎えて、「竹人形芝居はなれ替女おりん」を上演します。さらに会場周辺では「竹のオブジェと暮らし展」や「水俣地域環境展」、「みなまた総合物産展」



水俣まごころフェスティバル



竹人形芝居「はなれ替女おりん」

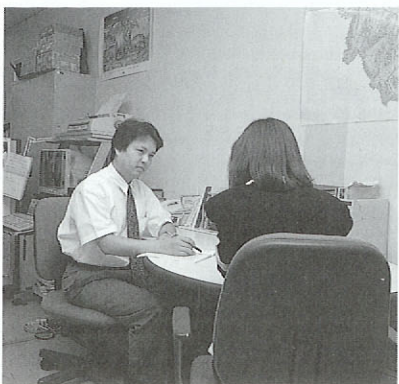
環境ふれあいインみなまた開催概要				
期日	開始時間	場所	事業名	関連事業
11月5日(金)	10:30	水俣湾埋立地 親水緑地	海に向かって	↑竹のオブジェ展 ↓
	14:00	三笠屋 パラドール	第2回 環境水俣賞授賞式	
	18:00	福田農場	ふるさと 環境交流集会	
6日(土)	10:00	水俣湾埋立地 特設会場	環境再生フォーラム	↑みなまた総合物産展 ↓ ↑水俣地域環境展等 ↓ ↑竹のオブジェと暮らし展 ↓
7日(日)	10:00	水俣湾埋立地 特設会場	第2回 水俣まごころフェスティバル	
	13:30 及び 18:30	水俣市文化会館	竹人形芝居「はなれ替女おりん」上演	

言葉や習慣の違い? 困った時はどこのぞ

「国際相談コーナー」オープン

熊本県にも国際化の波。熊本で生活する外国人の方が多くなり、様々な悩みを抱え相談相手もなく困まっている方も多いでしょう。また県民の方で国際関係事項に関する興味をお持ちの方も多いと思われます。

このような現状を考慮して、熊本国際交流活性化連絡協議会が相談に応じる「国際相談コーナー」を七月一日より開設しました。場所は県国際課の隣室。日、英、スペイン、中、韓の五カ国語で対応します。相談は電話でも面接でも可能です。



受付時間：月、水、金（無料秘密厳守）  
午前10時〜12時、午後1時〜4時  
直通電話：096(385)4488